

看護

にいがた

公益社団法人
新潟県看護協会機関誌

2025 Vol.164

11月20日発行

新潟県看護協会会員数

- 保健師……………757名
- 助産師……………529名
- 看護師……………12,926名
- 准看護師……………341名
- 会員総数……………14,553名

〈令和7年8月現在〉

特集 新潟県看護協会 各支部の紹介 P2・3・4



Contents

02 各支部の取り組み・抱負

03 各支部の取り組み・抱負

04 各支部の取り組み・抱負

05 訪問看護総合支援センターの取り組み報告

06 新人研修・看護管理者研修を実施しました

07 セカンドレベルの学びとこれから／教育研修課からのお知らせ

08 学会・集会等への参加報告

09 おらって職場自慢

10 2026年度 会費に関するお知らせ

11 キャリナースに登録してください

12 かんごちゃんが教えてくれるQ&A／看護師等免許保持者の届出制度

各支部の取り組み・抱負

村上

村上支部長 村上記念病院 岩橋 博美



(村上)



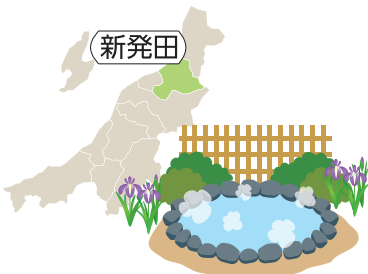
村上支部では6月21日に令和7年度支部集会並びに講演会を行いました。
講演会では「村上地域における在宅(地域)医療と介護の連携について考える」～在宅医療の始まりから看取りまで～と題して、地域で在宅医療をされている瀬賀医院瀬賀弘之先生から看取りまで関わられた事例について、多職種の方のお話も交え、各職種の役割や連携の必要性、関わり方についてお話をいただきました。
参加者は募集数を超える多くの方からご参加いただき、実際の事例を通して地域での役割や連携について学ぶことができました。三職能合同研修会でも地域でのそれぞれの役割や、連携などを考えられるものを企画しております。これからも地域で働く看護職がそれぞれの役割を理解し、繋がり、輪が広がる活動ができればと思っています。

新発田

新発田支部長 県立新発田病院 五十嵐 聡子



(新発田)



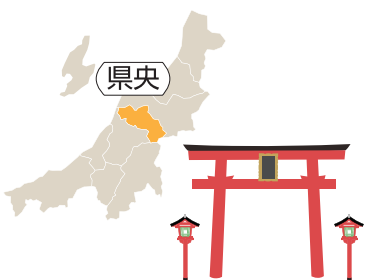
新潟県看護協会新発田支部では、「地域の看護を知ろう、語ろう、つなげよう～in新発田2024-2025～」と題した研修を全4回シリーズで開催しています。新発田圏域内の多様な現場で働く看護職が、現状や課題を共有し、解決に向けた計画を考えることを目的としています。
管理者から実践者まで幅広い立場の参加があり、グループワークでは「具体的な事例を通して理解が深まった」「施設の立場の違いが多面的に理解できた」と好評を得ています。地域支援者同士のつながりを求める声もあり、支部活動の強みである“顔の見える関係づくり”が進んでいます。地域連携をキーワードに、支部が看護職同士をつなげ、地域に根ざした看護をともに築いていく場として、今後も活動を展開していきます。

県央

県央支部長 崇徳会 県立加茂病院 佐々木 美奈子



(県央)



当圏域は医療再編後1年半が経過、看護部長会と在宅医療連携関係機関は年3回集い、私は看護協会情報の時間を頂戴し、支部活動と連携させて頂いております。
今年度、受療動向の課題である生活習慣関連疾患について三条保健所管轄内CKD・糖尿病患者等療養支援のプラットホームに県央支部として仲間入りしつつ透析患者の課題についての会議が始まりました。
職員の育成は救急看護研修を県央基幹病院が担うと共に質の高い看護職への連絡ルートが広報されるなど、一步一步再編後の課題解決に向け具体的な動きが活性化しております。今後も県看護協会の重点目標に沿い、保・助・看一体となって県央地域の人々の健康と療養生活を支え、看護職が働き続けられる環境づくりに邁進してまいりたいと考えております。

各支部の取り組み・抱負

長岡

長岡支部長 田宮病院 澤中 政道



日頃より、長岡支部の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

長岡支部では6月22日に通常集会並びに記念講演を開催いたしました。支部活動方針でありました「看護師が働き続けられる環境作りを推進する」に重点を置き、田宮病院菅看護部長より「職場不適応を起こす心のメカニズムと組織としての受け入れスタンス」をテーマに前年度の記念講演をブラッシュアップさせた内容でご講演いただきました。参加された皆様の職場環境の改善に役立てたのではないかと考えております。

今年度は糖尿病に関するイベントや福祉と健康の祭典への参加を通じて、長岡支部の活動をアピールし、地域医療・介護・福祉に貢献することが責務だと考えております。

今後も長岡支部会員の皆様と連携・協働しながら自利利他の精神で充実した活動が展開できるように努めてまいります。

うおぬま

うおぬま支部長 県立十日町病院 小林 和栄



うおぬま支部は、昨年に引き続き「地域の人々の療養を支える看護の輪を広げる」をテーマに各職能と連携しながら活動してまいります。そのために、支部内の各施設の役割や特徴、そして強みを知ることによって地域のリソースが活用できるような交流の機会を持ちたいと考えております。施設が異なっても、「対象者一人ひとりを生活者にとらえ全人的にみていく」視点は共通しています。そのようなビジョンをもとに微力ながら地域の看護に寄与したいと考えております。

また、支部長として支部会員の皆様の声を協会に届けられるよう、パイプ役としての役割を担っていきたいと考えております。

柏崎

柏崎支部長 国立病院機構新潟病院 熊木 綾子



日頃より、柏崎支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

柏崎支部では6月28日に通常集会ならびに研修会を開催致しました。研修会では「認知症じょんのびケア」と題し、新潟病院須田友里恵認知症認定看護師より、各期に応じた対応方法と環境調整について講義をしていただきました。

今年度は「開かれた看護協会柏崎支部」を目指し、協会員が在籍していない施設にも研修会のご案内を行いました。その結果、市内のクリニックや介護施設から、協会員以外の12名の方にご参加いただきました。

支部活動を知り、興味を持って参加していただくことが地域で活躍される看護職との交流、連携に繋がります。今後も「開かれた柏崎支部」を目指し、ひいては会員増に繋がるよう活動していきたいと思います。

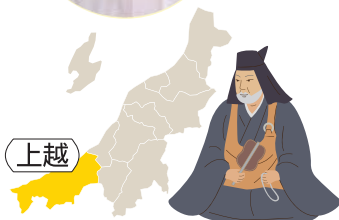
各支部の取り組み・抱負

上越

上越支部長 県立妙高病院 新井 啓子



上越



日頃より、上越支部の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今年度は、看護師職能が「上越地域人生会議サポーター研修」、保健師職能が「保健師お仕事ガイダンス」(8/23に開催)、助産師職能は柏崎支部との合同研修を企画しています。人生会議サポーター研修は今回3回目、上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会との合同開催となります。「もしもの時のことを語り合う文化を地域に醸成させる」という将来を見据えた地域の取組みの一部を担うことは、非常に意義深いことだと思います。
上越支部は、今後も会員の皆様からの声を聴きながら看護の質向上に取り組むとともに、職種を超えた方々と協働して地域住民の暮らしを支える事業にも貢献できるよう活動してまいります。

佐渡

佐渡支部長 佐渡市立両津病院 鈴木 幸子



佐渡



佐渡支部は、地域の看護師同士の交流や知識共有を促進し、地域医療の質向上を目指して活動してきました。教育研修や職能研修会、機関誌発行による情報発信に加え、地域包括ケア会議や医療構想調整会議などにも参画し、医療・介護・福祉の提供体制充実に取り組んでいます。
今年度は活動テーマを「支え合いとつながりを活かす看護」とし、会員同士の励まし合いや学びの共有を通じて、離島ならではの医療課題に向き合っています。これからも質の高い研修と交流の場を充実させ、地域の健康と福祉に貢献できる佐渡支部を目指してまいります。

新潟東

新潟東支部長 桑名病院 川島 菜穂子



新潟東



新潟東支部では6月24日、支部集会と認知症看護特定認定看護師を講師に招き「みんなで考えよう!身体拘束最小化戦略」をテーマに講演会を開催しました。診療報酬改定施行直後のため参加者の関心が高かったです。講演会では組織全体の取り組みや、身体拘束の必要性が生じる前にそもそも必要とする状況を生じさせないための取り組み、自施設ですぐに取り組める現場に即した内容等について講義していただきました。最後にミニグループワークが行われ、活発な意見交換がされ、「さらに他施設の取り組みが聞きたい」との意見も見られました。参加者の満足度も高く、実践に役立つ内容であったと評価をいただきました。
新潟東支部は、今後も皆様からの声を大切にしながら、現場や地域のニーズに沿った情報発信ができるよう活動してまいります。

新潟西

新潟西支部長 済生会新潟病院 石山 綾



新潟西



新潟西支部は「三職能が連携し、活動の輪を広げよう!」を掲げ、新潟市4区(秋葉区、南区、西区、西蒲区)と五泉市、阿賀町の6区で活動を行っています。16名で構成され、役員会議ではアウトカムに向かった前向きな発言によって心地よい話し合いが行われています。
今後、日本は加速的な人口減少と高齢化、同時に生産年齢人口の減少が深刻となり労働力不足が懸念されています。新潟西支部はこの2040年問題における地域の課題と向き合い、地域で患者・利用者さんの治療と生活に寄り添った看護が展開できること、更に、労働力不足の中でも看護職が看護を誇りに思い実践し、働き続けられることを目標に教育や広報活動を行って参ります。今後とも宜しくお願い致します。

訪問看護総合支援センターの取り組み報告

訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター

訪問看護総合支援センターは、県民の皆様が住み慣れた地域で、人生の最期までその人らしく過ごすことができるよう、質の高い訪問看護サービス提供体制の安定化及び推進を図ることを目的として、さまざまな事業を実施しています。今号では「看護学生に向けた訪問看護の魅力発信」と「看多機(かんたき)の魅力」についてご紹介いたします。

「訪問看護の魅力発信in長岡崇徳大学」

長岡崇徳大学 看護学部看護学科
助教 山崎 節子



2025年7月29日、3年次学生を対象に県看護協会主催「訪問看護の魅力発信in長岡崇徳大学」が開催されました。

本企画は、訪問看護の需要がピークを迎える2040年に向けた人材育成に繋げる目的があり、本学としては、開学以来150名余りの卒業生を輩出しましたが、新卒時に訪問看護の仕事に就く者はおらず、その関心について検討する契機となりました。実施形態としては、8月下旬からの領域別実習を控えたタイミングであったことから実習オリエンテーションの一部に組み込んで行いました。

当日は市内の訪問看護ステーションで働く若手看護師2名が訪問時の服装で日々の業務について、その困難さ

も含めて率直に語ってくださいました。また、実習への助言や訪問かばんの中身の提示もいただきました。その様子を学生は実にまっすぐな視線で見て、聴き、質問をし、訪問看護師はそれに誠実に答えていました。

協会が実施前後に行った訪問看護への関心についてのアンケートの回収率は100%だったといえます。フレッシュな訪問看護師の姿と声は学生に響くものであったようです。協会の成果の公表を待ちつつ、実習での学生の様子と声を拾い、共に未来について考えていければと思います。



地域包括ケアシステム、在宅介護の切札 「看護小規模多機能型居宅介護」の魅力

株式会社 アンジェル 代表取締役
かんたき ゆいまー ケアマネージャー
唐津 義明



「かんたき ゆいまー」は新潟市江南区にあります。利用者の多くは認知症があり、病気を持っている方々です。本人家族の意向、経済的理由等で在宅介護を選ばれた方々です。独居や認知症など様々な理由で居宅サービスでは対応が難しい方が多いです。生活リズム

も様々なですが、「看多機」は生活全般を支えることができますので、基本的に「できない」がありません。この取り組みは利用者家族は勿論、支援側にも大きな満足が生まれます。更に、利用者家族は望む生活を支えてもらえるので、支援者に対する信頼は非常に高く、家族の一員のようにになります。また医療管理では、主治医より指示書をもってまいりますので状態変化の早期の相談、受診が可能です。重症化を防ぐこともできます。

当初は「最期は病院」と考えていた方々も訪問診療を受けながら「ゆいまーと一緒に最期を迎えたい」となる方も多いです。利用者一人ひとりと向かい合い最期まで住み慣れた自宅や地域で支えることができる。これが「看多機」の最大の魅力だと思います。

～最近の取り組み～

今までは医療依存度の高い方を主に支援してきましたが、地域包括ケアシステムの担い手として、要介護度が低く、また医療依存度の低い方々にもご利用いただけるよう取り組みを始めました。早い段階から看護師が健康管理を行い、状態変化の早期発見治療に努め、リハビリ担当者が介護予防を実践することで、介護の重度化を防ぐことの一助となります。介護・医療保険料の増大を防ぐことにもつながります。またこの取り組みにより「自宅や地域で最期まで」が当たり前になり、高額な入所費用も必要ありません。この取り組みを広げることで、利用者の確保並びに地域包括ケアシステムの実現に貢献していこうと思っています。



新人研修・看護管理者研修を実施しました

新人ナース
あつまれ!

「～新人同士の交流を通してリフレッシュ
明日からの看護に繋げよう～」を開催して

新潟県看護協会
教育研修課 関根 隆子

「是非、新人研修をして欲しい!」という要望を受け、今年度初めて新人研修を開催しました。参加者は、新人看護師17人でした。

研修は、講義と演習で、講師の池田会長から「みんなのレジリエンスにつなげる」ことを目的に、最近のデータを用いて新人が抱える悩みや不安、看護と業務の考え方、さらには看護協会の使命や役割について話がありました。演習では、参加者が入職から現在までを振り返り、各々の近況について語り合い、「自分をほめたいこと」を一人ひとりが発表したあいまでした。和やかな雰囲気の中、お互いの共通点やガンバっていることを認め合い、状況を共有できたのではないのでしょうか。

研修を通して、皆様が目標を持って日々前向きに取り組んでいることが分かり、うれしく思いました。学んだレジリエンスを鍛えるコツやリフレッシュ対策を実践すること

で、また明日から元気に笑顔で看護に取り組んで欲しいと期待しています。

(レジリエンス:困難や逆境から回復する力・適応力)



新人研修に参加されたみなさんと池田会長

看護管理者研修
すが塾を受講して

看護管理職2年目、
私には伸びしろしかない!

介護医療院アビラ大形
看護部 看護部長 本間 絵梨香

私はキャリアアップや新たな挑戦として管理職の世界へ進みました。臨床現場での勤務とは全く異なり、日々貴重な経験をさせて頂いております。

2年目となった今、「職員にとって最適な職場環境とは」と考えることが増えていきました。答えが見つからない日々が増すごとに自身にとって大きな壁となり、思い描くビジョンも持ち前の前向きさも薄れてしまっていくよう

でした。その様な思いの中、受講させて頂いた研修。講師の坂本すが先生のパワフルさ、参加された各医療施設の看護部長の皆様の率先した発信力に圧倒されつつも、「私には伸びしろしかない。ここでの学びを全部吸収しよう」という意気込みで参加しました。講義中、坂本すが先生の問いかけ“Why”をキーワードに参加者全員で考え、発信し合い、解決策を検討していきました。『問題解決方法は「正しい／間違っている」という対立軸ではなく、二極の間にある答えをできるだけ多く見つける。答えはゼロかイチではない。』というマネジメントのコツにハッとしました。答えは多数あってもいいということ、そのためにはまず会話することが大切だということ。

自分の可能性を信じ、学び続け、ワクワクしながら管理職ができる看護師になりたいと新たな希望が見出せました。

※2025年4月～介護老人保健施設→介護医療院アビラ大形へ転換致しました。



坂本すが先生とすが塾1期生のみなさん

認定看護管理者教育課程

セカンドレベルからの学びとこれから

厚生連柏崎総合医療センター 看護師長 行田 由香

5月15日から7月18日迄の約2ヶ月間、認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講しました。この経験は、私の看護管理者としての役割を改めて見つめ直す大きな機会となりました。特に印象に残ったのは、組織の理念やビジョンを実現するために果たすリーダーシップの重要性です。

日々の看護業務に追われる中で目の前の課題解決に意識が向きがちですが、本課程では組織全体を俯瞰し、中長期的な視点で先を見据えて行動することの大切さを学びました。また、講義や演習を通して、管理者は職員の力を引き出し、チーム全体で成果を高める役割を担うことを実感しました。この学びを踏まえ、現在、身体的拘束最小化に向けて患者の起きあがりたいたいという思いや何を望んでいるかというニーズを丁寧に探るカンファレンスを推進しています。受講前は「安全確保」を優先して身体的拘束が選択されやすい状況がありました。しかし、この視点を取り入れ議論を重ねることで、患者さんの尊厳を守りつつ安全を担保する実践へと一歩踏み出すことができました。

最後に、本課程で得たのは知識だけでなく、同じ課題意識を持つ仲間との出会いです。多様な立場で活躍する受講者との交流は、視野を広げ、互いに刺激し合う貴重な経験となりました。今後は、この学びとつながりを支えとして、より良い看護の実現に向けて歩んでいきたいと思っています。

済生会三条病院 病棟師長 鈴木 春代

私は昨年度、看護師長に任命されました。病棟看護師長としての一年間は次々に生じる複雑化した問題に、ファーストレベルの講義で得た知識を活用できず、悩むことが多くありました。そこで、「組織を動かす力」と「発信力」を身につけたいと考え、セカンドレベルの受講を決意しました。

セカンドレベルでの講義では管理の体系的な学びに加え、現場の問題解決に至るまでのプロセスを考える実践的な学びが得られました。特に、スタッフ自身が役割を理解することや、データを活用した根拠ある説明が動機づけに重要であると学びました。

今後は、講義での学びをより良い病棟づくりの実践に活かしていきます。まずは、スタッフが納得して主体的に行動できるよう、対話の中で役割理解を促す働きかけと、変革理論の段階に沿っての改善を図っていきます。

この2か月、それぞれの立場で奮闘する仲間に出会い、前向きに挑戦する意欲が高まりました。

研修で得た人脈は、今後の情報交換や刺激を与えてくれる存在であると思っています。この機会を得たつながりを大切にしていきます。



2025 看護管理とは何か、振り返り、考え続けた仲間達

教育研修課 からのお知らせ

1 2026年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベルの開催について(予定)

●セカンドレベル	5月14日(木)～7月17日(金)	募集期間	2月2日(月)～3月4日(水)
●ファーストレベル	7月29日(水)～10月16日(金)		3月10日(火)～4月7日(火)

※詳細につきましては2025年12月末HPでご確認ください。応募お待ちしております。

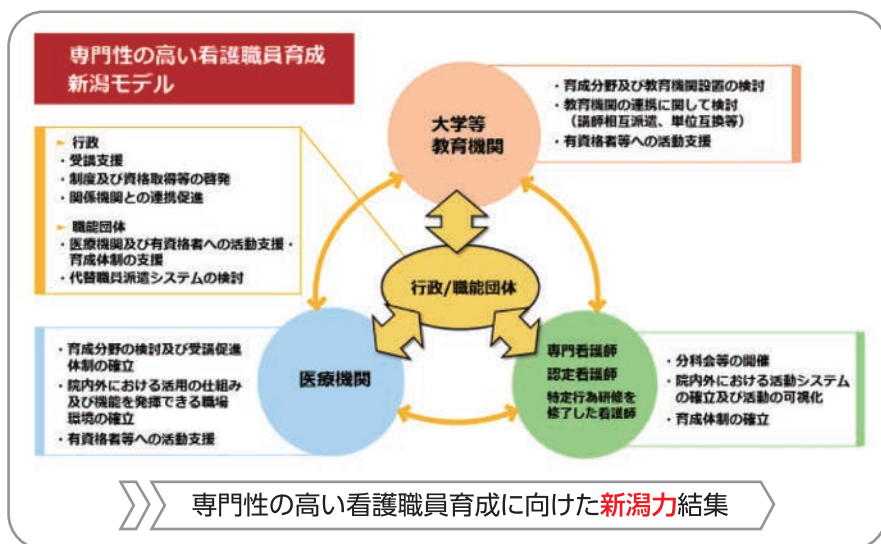
2 認定看護管理者研修制度の変更について

今後、多様化する人々のニーズに応え続けるためにあらゆる場で働く看護管理者の役割発揮が求められています。日本看護協会では、認定看護管理者教育の見直し、看護管理者育成のための教育・研修を体系化し、全国の看護管理者の受講を促進する教育・研修体系の構築を行うことになりました。新たな認定看護管理者教育課程は、2028年度から開始になります。

※詳細につきましては、HPでお知らせする予定です。

第29回日本看護管理学会学術集会において上越圏域看護部長会を代表し活動報告を行いましたので、紹介させていただきます。

上越圏域看護部長会は、14病院の看護部長と2保健所、3市の行政職で構成されており、看護職の確保、看護の質向上に貢献することを目的とした組織です。2023年からは新潟県看護協会の提案を受け、行政及び職能団体、医療機関、教育機関、専門・認定・特定看護師が連携する「専門性の高い看護職員育成新潟モデル」(図1)の実装化に取り組みました。取り組む過程で、組織が異なっても人材育成や定着などの共通の課題であることを認識し、「共に学び支え合う、人が育ち、人を育てる上越圏域」を目指すことを決定しました。



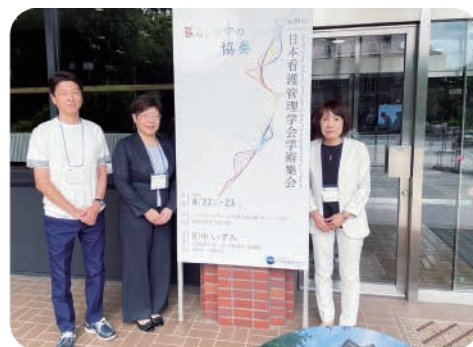
(図1) 専門性の高い看護職員の育成検討会報告書(R2.3)より引用

新潟県厚生連糸魚川総合病院

看護部長 廣田 光恵

活動内容は、地域の専門看護師・認定看護師を講師とした新任研修、新潟県立看護大学の協力を得ながら「上越圏域の看護部長が考える看護師長像の明確化と共有」に取り組んだ看護部長研修などです。看護部長自身が障壁を作らず行動し、地域全体を捉えて行動できる人材の育成を推進していきたいと思います。

今回の発表に対し好意的な評価やコメントをいただき、活動への自信とモチベーションとなっています。今後も成果に繋がる活動の継続を目指していきます。



研究メンバー



札幌時計台

ぼうさいこくたいに参加して



新潟県看護協会 常務理事 菅井 美佐子

語り合い・支え合い～新潟からオールジャパンで進める防災・減災～をテーマに、9月6日7日朱鷺メッセで開催されました。今年で10回目、過去最多の約470団体が出展しました。

当協会は「災害支援ナースの養成及び支援活動」というテーマで、災害支援ナースの存在や活動を能登半島地震の写真と共にPRしてまいりました。2日間で約180人の方が足を止めてくださいましたが、災害支援ナースの存在は、初めて聞いたという方がほとんどでした。パネルを見てくださった方からは「頭が下がるばかり」「大切な取り組み」「継続して欲しい」などさまざまな反応をいただきました。これからも機会をとらえ、私たち看護職の活動をさらにPRしていきたいと思います。



おらって職場自慢

\ 第5回 新潟南病院 /

他職種連携には自信があります



スタッフステーション

自分たちの職場自慢をして良い場だと伺いましたので、わが新潟南病院をめいっぱい自慢させていただきます。先日ちょうど、看護部・コメディカルが集まる会議の場で、「新潟南病院の良いところ」をテーマに意見を出し合いました。その中から抜粋します。

「病棟に行くと看護師さんやMSWさんや自然に集まってきて、『この患者さんのことだけど…』とディスカッションが始まる。一人で仕事している感じがしない。(栄養士)」「他部署やコメディカルに何か相談した時に真摯に対応してくれるところ。無下にせず相談に乗ってもらえるため助かっています。(病棟)」「どの職種の人に相談しても、できないという言葉は聞かれない。このようにすればできるという事を提案してくれます。(病棟)」「患者を断らない



新潟南病院
看護部長 坂井 八十子

で必ず診察に繋げること。患者さんも南病院に来れば何とかしてもらえると感じている。(外来)」

このように、一番の自慢は多職種同士垣根が低く、連携がとれているということでしょうか。連携と言えば、当院は同法人内に訪問看護ステーションや老人保健施設があり、病棟の看護師を実習に出して在宅看護を学ぶ機会を設けています。今年度からは、新潟市民病院から人事交流のお声かけがあり、看護師の実習を受け入れています。5月の第1回目の実習では、お互いにたくさんの刺激を受けることができ、気持ちの良い人事交流ができたと思っています。いずれは当院からも実習に出してあげたいと思っていますし、病院内だけでなく地域の輪が広がっていくことを願っています。

これからも地域のニーズを丁寧に汲み取り、地域に信頼される組織を目指して精進していきたいと思っています。



認知症ラウンド



ウォーキングカンファレンス

おらって職場自慢
してみませんか？

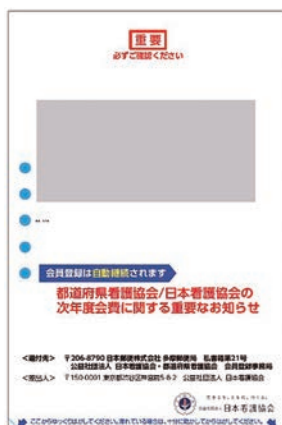
あなたの職場のPR、看護にいがたの紙面にのせてみませんか？

●お問い合わせ先▶ info@niigata-kango.com

2026年度会費に関するお知らせ

継続のお知らせハガキがまもなく届きます。
(施設会員は所属施設へ、個人会員はご自宅へ届きます)

必ず開いて
ご確認ください!!



登録内容に
変更がない方

自動継続でお手続きの必要はありません。
会費納入方法をご確認ください。

登録内容に
変更がある方



から変更の手続きを
お願いします。

※「入会申込書/会員情報変更届」での変更も可能ですが、
手続きに1〜2ヶ月程度かかります。

●次年度継続を希望しない方は退会届を**12月20日までにご郵送**ください。

2026年度会費	初めて入会される方	継続入会の方
入 会 金	10,000円	0円
新潟県看護協会費	7,500円	7,500円
看護研修センター維持管理等会員負担金	0円	2,000円
日本看護協会費	5,000円	5,000円
合 計	22,500円	14,500円

口座振替

初回の口座振替は、

**2026年
2月27日(金)**です。

※次年度継続をしない方は
退会届を提出してください。

施設とりまとめ

2025年10月1日(水)
より納付手続きが
できます。

※振込前に「施設用WEB」
で会費納入対象者の特定
作業をお願いします。

コンビニ収納 銀行振込

**圧着ハガキで納入
してください。**

〔圧着ハガキが払込
票になっています〕

キャリアナース に登録してください

引っ越しや姓の変更、勤務先が変わった…登録している会員情報が変わった場合はキャリアナースで変更をお願いします。変更手続きはスマホからできます。
(継続のお知らせハガキに記載されています)

▼キャリアナースでできること

01 会員情報の変更がスマホ・パソコンからできます。

ご自身の会員情報や活動履歴がスマホ・パソコンから確認できます。
住所や勤務先、会費納入方法の変更もその場でできます!

02 スマホが電子会員証になります!

カード会員証を持ち歩かなくても、看護協会番号が確認できます。

03 資料の閲覧や検索も可能! スキルアップに役立ちます。

機関誌「看護」、日本看護学会論文集の他に日本看護協会のさまざまな発行物を閲覧できます。さらに調査研究報告、看護関連図書の文献検索も可能です。

04 ご自身の研修受講履歴を管理できます。

受講証明書の印刷が可能です。

登録のしかたがわからない、うまくいかない場合は総務課までお問い合わせください

▼総務課からのお願い

★新潟県看護協会からメールでご連絡することがありますので、下記ドメインのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。
@niigata-kango.com

★勤務先を登録している場合、協会ニュースや看護にいがたなどは施設に送付されます。(コンビニ払込票などは登録に関わらず自宅に送付されます)。会員情報の確認もキャリアナースからどうぞ!



会員特典企業が 増えました!!

会員証の提示で割引等が受けられます。
ぜひご利用ください。

- 新潟グランドホテル
- 株式会社考古堂書店
- 新潟東映ホテル
- 株式会社アサンテ
- 株式会社タカラレーベン

今後も拡充していきます。
詳細は協会ホームページを見てね!





Q 「看護の将来ビジョン2040」って何ですか？

A 2040年に向けてさらに少子高齢化が進み、DXの推進や働き方改革など、看護を取り巻く環境は大きく変化するんだ。看護職がこれらに対応し、引き続き人々のいのち・暮らし・尊厳をまもり支え続けるために何をすべきか、将来を見据えて看護が進むべき方向性、果たすべき役割を日本看護協会が明示したものだよ。

超高齢社会に対応するための看護職の役割拡大と、技術革新による専門性の向上、そして看護職自身のウィルビーイング実現に向けた動きのことなんだ。具体的には、医療・介護を包括的に提供する地域包括ケアシステムの中核を担う訪問看護ステーションの機能強化や、ICTを活用した業務の効率化、全世代の多様なニーズに応える機能拡大、そして自律した専門職としてのスキルアップとやりがいの向上が挙げられてるよ。

YouTubeに動画(約7分)がのってるんだ。とってもわかりやすいから、是非見てね～！



看護の将来ビジョン2040
Youtube動画のQRコード



看護の将来ビジョン2040
冊子のQRコード

看護師等 免許保持者の 届出制度

看護職が病院等を退職する際は、次の職場が決まっている場合でも、ナースセンターに届け出ることが努力義務化されています。(看護師等の人材確保の促進に関する法律) 届出いただいた情報をもとにナースセンターから連絡させていただき、無料職業紹介サイト“eナースセンター”や就業相談のご説明、各種セミナーなどのご支援を行っています。

新潟県看護協会ホームページ⇒ナースセンター⇒看護師等の届出制度 (とどけるん) をクリック！

- 届出方法別の「届出マニュアル」や「届出票」は、ホームページをご参照ください。
- 本人届出票で届出内容をご確認ください。最寄りのナースセンター(本所・支所・窓口)へ郵送または持参も可能です。

病院・施設等が届け出る場合(代行) **eナースセンター**



対象者本人が届け出る場合 **とどけるん**



スマホなら



★ご不明点は新潟県ナースセンターにご連絡下さい。 ☎025-233-6011 ✉niigata@nurse-center.net

編集後記

編集にあたり多くの皆様にご協力頂きまして、大変ありがとうございました。
今後とも皆様に役立つ情報をお届けできるよう層努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

広報委員会：古泉／本間／佐藤／小林／鎌田／谷川／山下／中山

